



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 栃木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018) 平成30年3月13日 No 32 2017～2018年度 (第3236回会報)

会員数 106名 出席者数 66名 出席率 68%

ビジター紹介 (親睦活動委員会 矢治和之委員長)

下地敏邦様 (ゲストスピーカー)

~~録音器具不具合により省略~~

快出席祝 (出席委員会 長谷川正委員長)

篠崎昌平会員 (35年) 齋藤一郎会員 (34年) 阿部欣文会員 (11年) 荻山猛彦会員 (26年)

栗飯原悟会員 (10年) 播摩聡会員 (9年) 大矢裕啓会員 (6年) 矢治和之会員 (6年) 針谷隆之 (5年)

親睦活動委員会報告 (矢治和之委員長)

宇都宮市内10RC親睦ゴルフのご案内が来ております。改めて皆様にご案内をさせていただきます。

5月6日(日)宇都宮カンツリークラブにて開催されますので、ご参加の程お願い致します。

後藤裕通会員

私事でございますが、栃木に着任しまして2年になります。4月の人事異動が発表されまして、本社に行くことになりました。在職中の2年間宇都宮ロータリークラブの皆様へ、色々のご指導を賜りまして有り難うございました。又2017-2018年度7月からのクラブ会報委員長として、皆様へ多大なご迷惑をお掛けし申し訳なく思っております。今、改善して対応させて頂いております。ひとかたならずご厚情に感謝申し上げ、ご挨拶にかえさせて頂きます。2年間有り難うございました。

ニコニコボックス委員会

誕生祝：佐々木英典会員

結婚祝：岡崎善胤会長エレクト 宮本隆昌会員 関口快流会員 金山典生会員

快出席祝：阿部欣文会員 篠崎昌平会員 齋藤一郎会員 矢治和之会員

奥様誕生祝：岡崎善胤会長エレクト

篠崎昌平会員：先日3月9日に孫娘が県総合文化センターメインホールにて、

栃木銀行第25回“マロニエチャリティーコンサート”に出演しピアノデュオ演奏を行い、大好評を頂きました。

プログラム紹介 (プログラム委員会 松本春枝委員長)

本日は、とちぎ傷病鳥獣保護ボランティア クラブ会長の下地敏邦様をご紹介致します。下地様のプロフィールをご紹介させていただきます。勤務先の大手医療機器会社の移転に伴い、1979年から大田原市在住。開発設計部門を経て、労働組合中央執行委員、1995年から大田原市議連続3期、副議長を務められました。2005年本社主催の「下野ふるさと大賞」で、同美術館が準大賞、現在は県森林審議会委員、とちぎ傷病鳥獣保護ボランティアクラブ会長でいらっしゃいます。本日は「自然を楽しむ」という題で、お話を頂きます。よろしくお願ひ致します。

卓話「自然を楽しむ」

とちぎ傷病鳥獣保護ボランティアくらぶ 下地敏邦様



皆さま、こんにちは。只今ご紹介を頂きました下地と申します。私は、三重県で生まれました。昭和54年、栃木県大田原市に移ってきました。私の故郷は三重県ですが、心の故郷は栃木県です。子供達は、この栃木で育ちました。私の妻は、九州鹿児島生まれです。栃木に來まして、新幹線通勤をしました。「東京に移って来い！」と、言われたのですが、栃木を離れられず新幹線通勤を認めてもらい4年間通勤しました。川崎まで片道198キロ、朝6時21分那須塩原発の新幹線

に乗り、帰りは最終の便と言うこともありました。4年間一度も遅れた事はありませんでした。新幹線も遅れた事はありませんでした。1つの体力と言うことで、自慢しております。宇都宮ロータリークラブのホームページを見まして、歴史と伝統のあるクラブで時間を頂けますのは大変光栄で有り難い事です。今日は精一杯、私が感じている自然の楽しみを皆さんに話させて頂きたいと考えております。

皆さん、鳥の種類を何種類ご存じですか？猛禽類・小鳥に分けてみますと、分りやすいかと思ひます。ざっと「20種類は知っているよ」と云う人はいますか？10種類は？いますよね！道を歩いていますと色々な所に鳥がいますので、これからは鳥に興味を持って頂きたいと思ひます。鳥の方も人間を見ている。これは自然の一つです。人間も自然も一つになる自然度の高い状態を作り出して頂きたいと思ひます。皆さん「オオルリ」は、ご存じですよ。栃木県鳥です。「チュウルリ」は、聞いたことがありますか？「コルリ」は、如何ですか？オオルリは大きくて、コルリは小さいです。ルリと言うのは、ルリ色・ブルーです。この中でいないのは「チュウルリ」です。機会がありましたら、図鑑などを見て時間を取って頂ければ幸いです。サギの種類にゆきます。ダイサギ・チュウサギ・コサギと、大・中・小です。シラサギは、コサギです。次にシジュウカラ・ゴジュウカラ・ロクジュウカラ、この中でロクジュウカラはいません。一番皆さんに親しみがあるのは、シジュウカラです。シジュウカラしか入らない巣箱にするのは、何が大事でしょうか？巣箱にスズメは入りやすいです。シジュウカラに入って欲しい時は、入り口の幅は28ミリです。30ミリになってしまいますとスズメが入ります。シジュウカラは卵を何個ぐらい産むと思ひますか？10個程産みます。10個産んだ卵を同じ日にふ化させ、同じ日に巣立ちさせる為、シジュウカラは調整しています。1個卵を産み、布団の様な物を掛けて温度が下がらないようにして放置します。2個3個と同じように繰り返す、何個産んだか分からないように布団の様な物で覆います。同じ日からスタートしますので、全部の卵がふ化しても1日位のずれしかありません。シジュウカラの巣の材料は、どこから運んで来るのでしょうか？95%が水苔です。苔ですから、とても綺麗です。どの鳥も同じですが、雛が巣立った後も巣の中に糞が有ることはありません。糞は外に捨てます。巣立った後は、綺麗なものです。親鳥は巣の中が腐敗しないよう又子孫を増やす為、配慮しています。これは、我々も見習わなければならないと感じます。このように小さな鳥がいる反面、オオタカの様な猛禽類は2個か3個の卵しか産みません。ふ化する日にちを変えています。1個目と2個目、2個目と3個目のふ化の日にちが、異なります。ふ化の日にちに差をつけるのは、餌が途中で無くなった場合、最後に生まれた雛には餌をあ

げません。大きい順に育て、小さいものは餌をもらえません。オオタカはシンボルバードと言われ、生態系の頂上にいますから、餌の状況によってその様な事が起こります。自然界は色々なバランスの上に成り立っているのだと分ります。日本の国鳥は、ご存じだと思います。キジです。何故このキジが日本の国鳥に選ばれたか、ご存じでしょうか？1947年昭和22年に、日本の国鳥に選ばれました。北海道を除くどこにでもいる鳥、年中見られる、立派な羽根で存在感の有るという事で、国鳥に選ばれたと本に書かれています。話し合いの中では「平和のハトが良いのでは」「白鳥が、ウグイスが」と色々あったようですが、キジは桃太郎の家来、日本になじみの鳥ということで最終的に国鳥に選ばれた様です。あるお寺の住職から聞いた話ですが、綺麗なキジの雄から国鳥にしようとしたのでは無く、雌の行動に国鳥に相応しいと感じたという事を聞きましたので、調べてみました。キジがあれだけ子供を守るという事は、人間に似ているところがあります。自分の体をはって、卵を守ろうとするのです。私は、体験をした事が有ります。ある人が「大変だ、助けて」と来ました。畑の草を刈り取っていて、キジの首をはねてしまった。良く見ると卵を抱えていたということです。私は県民の森に直ぐ電話をしました。卵を温めてからまもなくの時間であったならば、温め直せる。温めていた時間が長く動いていたのであれば、温め直しても動かないと言われました。10個の卵の中から7個孵りました。その7羽を県民の森で育てました。捕獲した場所に放鳥する事が基本で、しなければいけません。ですが、秋の天皇陛下の放鳥に使わせてほしいという事で、使って頂きました。農家の方がキジの首をはねてしまい、子供だけは助けようとし、そして陛下の放鳥に使って頂いた旨、読売新聞に掲載されました。キジが雛を連れて歩く姿は、カルガモが子供を連れて歩く姿に似ています。母親鳥が子供を育て、いかに安全に守るかという気を使った動きを見ていると、本当に涙が出る程です。先に車道を渡る際、何羽かの雛を先に行かせ、その後自分もそこに行き、又残った雛の元に戻り雛を渡らせます。キジの子供を守る、卵を守るという行動が、日本人の母親日本人の女性に近いのでは無いかという事で、国鳥にしたという記事が載っていました。我々人間もキジの母親に負けないよう、子供達を育てなければいけないと思っています。日本のキジは只綺麗なだけではなく、雌の行動によって国鳥になったという事を是非覚えておいて下さい。

次に私の方からお願いがあります。私は60歳になってから、いっさい働きません。大切な自然保護的な活動を一生懸命しようとしています。今は、山づくりをしています。日本の山は戦後の燃料ということで、植林をしました。昭和20年以降60年から70年経ち、特に杉山が多いです。杉と檜の山が多いです。私は平成16年に小さな山を買いました。3600坪ぐらいです。そこは、新檜の山でした。6割ぐらい間伐をして、間に落葉樹を植える作業をしました。針葉樹と広葉樹の混合樹を作ります。生物多様性がどの様になるのか、実験をしたいと行っています。宇都宮大学の教授にも見て頂いた事が有ります。一番大きく変わったことは、7年前からオオタカが小さな森に飛来しています。オオタカが住むという事は、何かが変化しているのではないかと、自分がしている事は間違っていない、自然が示してくれていると思っています。これからもこのような活動を続けてゆきたいと思っています。お願いというのは、もし「私もやってみようかな」という方がおりましたら、是非一緒に栃木県全体・日本全国に訴えてゆきたいと考えています。栃木県は55%が山林面積です。55%の山林を杉や檜だけで無く、当分は20分の1、20町歩持っている人は1町歩だけでも針・広葉樹の山に出来たら、変わるのでは無いかと。自分で実験をしてある程度の成果が出たら、皆さんに訴えてゆきたいと考えています。本日は、御清聴を有り難うございました。

=今日の食事=



カレーライス 海老フライ
サラダ
福神漬け

=卓話予定=

【3月】

3月13日 下地敏邦様 とちぎ傷病鳥獣保護ボランティアクラブ会長
「自然を楽しむ」

3月20日 黒崎英典様 (株)クロサキ 代表取締役

3月27日 例会休会

【4月】

4月3日 兼子文晴様 (株)未来福祉人材センター代表取締役 (株)ミンナのみカタ HD 代表取締役
「障がい者雇用の勧め」

4月10日 佐々木吉晴様 宇都宮美術館長
「アメリカ・3つの美術館の創立精神」

4月17日 佐藤栄一 宇都宮市長
「宇都宮のまちづくりについて」

4月24日 クラブフォーラム 夜間例会

会報担当：後藤裕通 会員

画像担当：増田直樹 会員